

関係者各位

令和2年9月11日
公益財団法人日本テニス協会
専務理事 福井 烈
戦略室長 畠山 康

スポーツ庁委託事業に係る今後の取り組みにつきまして

公益財団法人日本テニス協会は、スポーツ庁が行う今年度の委託事業【スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業」戦略的普及・マーケティングの実施】の公募に対し、中長期戦略的普及を核とした企画案を以て応募し、採択されたことを以下の通りご報告いたします。今年度より4カ年計画で行う本事業については、全国の都道府県テニス協会、テニス事業者ならびに学校関係者との連携を図りつつ、3つの施策プロジェクトを推進していきます。

1. スポーツ庁採択内容

委託事業名：【スポーツ産業の成長促進事業「中央競技団体の経営力強化推進事業」
戦略的普及・マーケティングの実施】

委託期間：令和2年度～令和5年度末までの4カ年（予定）

（2年目以降の委託契約についてはスポーツ庁が当該年度の事業の実施状況等について評価又は確認し、翌年度の事業実施計画書の内容を審査した上で決定されます）

2. （公財）日本テニス協会が提案し採択された事業の目的と取り組みについて

＜目的＞日本のテニス界における好機を確実に捉え、課題を解決し、未来のNFの在り方の模範となることを目指す団体として、中長期視点での戦略的普及・マーケティングを遂行し、日本のスポーツ界を牽引するようなサステナブルな経営基盤の構築に寄与し得る仕組みを確立することを目的とする。

＜取り組み＞戦略的普及（する、みる、ささえる人・団体の拡大）及びマーケティング（収益の拡大）において、「日本のテニスの中長期戦略プラン」及び「中長期普及・マーケティング戦略」の中でも、未来へのインパクトが大きいターゲットである「子ども」（及び子どもに関わる大人）に焦点を当て、テニスを簡易化し小学校体育授業用の種目として開発された「テニピン」及び、国際テニス連盟が提唱し世界各国のNFがこぞって推進している子ども向けプログラム「Play & Stay Tennis 10s プログラム（以下、Play & Stay という）」の普及推進活動、並びにその直接的・間接的収益化を図る。

3. 採択された企画案の概要について

■3つの施策を計画的に実施する

施策A：「テニピン」普及推進活動

施策B：「Play & Stay」普及推進活動

施策C：「テニピン」及び「Play & Stay」を起点とした収益化活動

<3つの施策の概要>

・テニスは、野球やサッカーのように小学校、中学校で「する」人口を確保できていないという問題を抱えている。野球やサッカーは普及・育成・強化がリンクし、ピラミッドが形成され、国内トップ、世界へのパスウェイが確立しているが、テニスは小学校、中学校での「する」機会が空白になっている。その解決が、テニス界の発展に繋がると推測される。

・「施策A」については、小学校でテニピンの授業を経験した児童が、その後テニスクラブ・スクール等でテニスを継続する確率（移行率）が約30%という検証データに基づき、テニピン経験者を増やすことが主に10歳前後のテニス人口増に貢献し得ると考える。そのため指導者を派遣し、全国レベルで実施の裾野が広がるよう教師やコーチへの研修（オンライン研修会含む）を行い、また用具寄贈キャンペーン等を活用し環境の整備を行う。

・また、一般的なイエローボールは12歳以下の子どもにとっては難易度が高く、楽しめるようになる前にテニスをやめてしまう子どもが少なくないことが問題であったが、「施策B」では、子どもの身体能力に合ったボールやラケットを用いることで技術的な難易度を下げ、また、最初からラリーやゲームを重視するPlay & Stayの特性を活かし、子どもたちが楽しんでテニスを継続的に「する」機会を提供し、育成・強化のステップへと繋がれることから選択した施策である。

子どもたちが自分に合ったステージで楽しみながら且つ継続的に試合経験を積んでいけるよう、47都道府県協会や事業者と連携し、全国各地でのJTA公認のPlay & Stayテニス大会の開催を促進する。また、勝ち負けで成り立つランキング制度ではなく、無理なく自分のレベルを知り、実力の近い子と楽しく競った試合を行うことを可能にするレイティングシステムの導入や、続けて参加することで貯まるスタンプ制度を導入し、子供も保護者も高いモチベーションを維持しながら自然にステージアップしていける環境を作り上げる。

・さらに、一般的に収益の拡大に繋がり難い普及推進活動であるが、これをマーケティング視点で取り組み、テニス人口（する、みる、ささえる）を増やすことが収益増につながるというモデルを確立するため、「施策C」を盛り込み、重要施策として位置付けている。

【本事業で掲げる目標値】



公益法人日本テニス協会 専務理事福井烈コメント：

「今まで普及活動はとても重要と認識しながらも、どうしても予算が限られていましたが、今回採択して頂いたことにより、次元の違う展開が可能になると思います。今回の採択は、JTAとしてだけではなく日本のテニス界の構想が認められたのだと考えています。上記の通り、本企画では壮大な目標を掲げていますが、このような高い目標を可能にするために、また本委託費を最大限有効活用するために、全国のあらゆるテニス関係者の方々との密接な連携が必須です。是非とも日本のテニスを盛り上げるために皆様のご協力をよろしくお願いします」

以上